

2019年3月7日

丸紅株式会社

D.M. Consunji, Inc.

フィリピン共和国・マニラ LRT2 号線東延伸案件の受注について

丸紅株式会社（以下、「丸紅」）はフィリピン共和国（以下、「フィリピン」）大手建設会社 D.M. Consunji Inc.（以下、「DMCI」）と共同で、フィリピン運輸省より、マニラ LRT2 号線（以下、「LRT2 号線」）の東延伸案件（延伸区間：4km、2 駅、以下、「本プロジェクト」）を受注しました。受注額は約 69 億円です。

丸紅はコンソーシアムリーダーとして本プロジェクト全体の履行管理および鉄道システム（信号、通信、変配電）一式の納入を担当し、DMCI は鉄道システム一式の据付および軌道の納入、工事を担当します。なお、本プロジェクトの高架橋および駅舎（Emerald 駅、Masinag 駅）の建設については DMCI が受注しており、完工間近です。

本プロジェクトは、日本政府の円借款 432 億円が供与されている「首都圏大量旅客輸送システム拡張事業」の一環であり、マニラ首都圏で深刻化する道路混雑の緩和、ひいては大気汚染の削減および気候変動対策の取り組みに貢献します。

既設の LRT2 号線建設案件は、マニラ首都圏を東西に走る 13.8km、11 駅の高架鉄道で、2000 年に丸紅が車両、軌道を含む鉄道システムパッケージを受注し、2004 年に完工しました。丸紅は、フィリピンにおいてその他に、フィリピン国鉄の軌道改修案件、マニラ LRT 1 号線増強案件等、鉄道システム建設・納入の豊富な実績を有しています。これまでの実績や本プロジェクトの履行を通じて獲得するノウハウを活かし、今後実施が計画されているフィリピンでの鉄道案件、その他インフラ分野にも積極的に取り組み、フィリピンの更なる社会経済の発展に貢献していきます。

DMCI は、設立以来 64 年間、土木、交通、産業、公益事業、その他サービス等、多くのインフラプロジェクトで、市民の生活の質を向上させ、フィリピンの経済成長を持続させてきました。本プロジェクトにおいても、これまでの経験を活かし契約履行に努めます。

以上

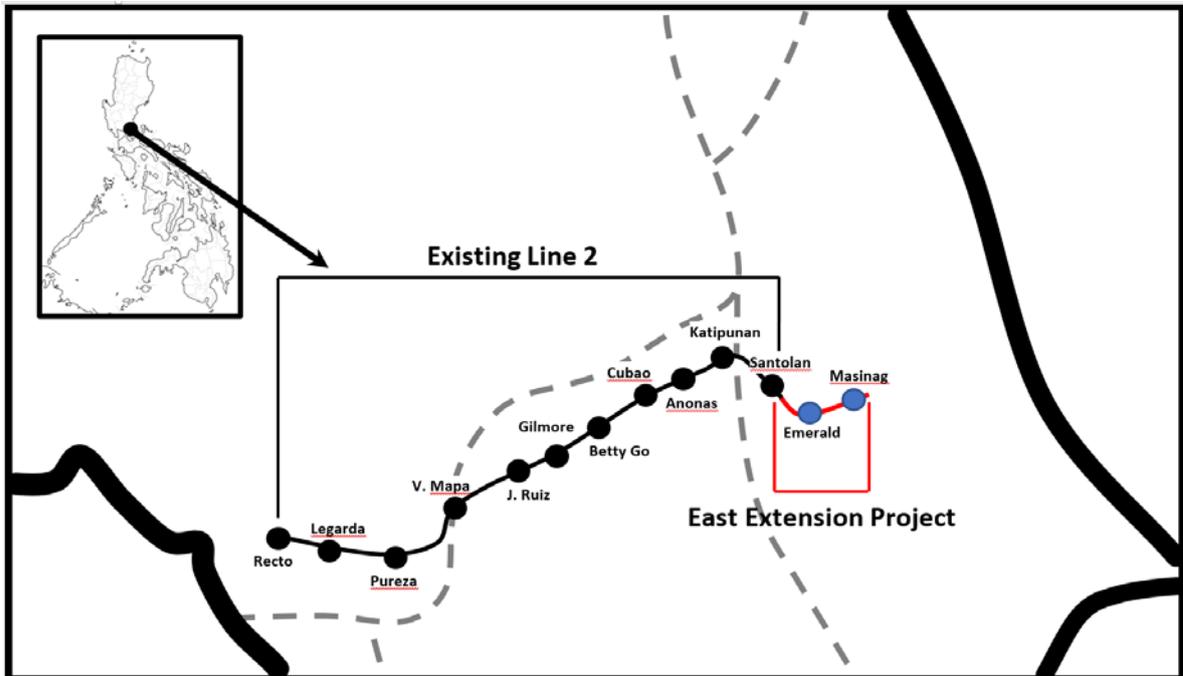
【丸紅概要】

名称 : 丸紅株式会社
所在地 : 東京都中央区日本橋二丁目 7 番 1 号 東京日本橋タワー
代表者 : 代表取締役社長 國分 文也
設立 : 1949 年 12 月 1 日
資本金 : 262,686 百万円
事業内容 : 国内外のネットワークを通じた、食料、生活産業、素材、エネルギー・金属、電力・プラント、輸送機その他の広範な分野における、輸出入（外国間取引を含む）および国内取引の他、各種サービス業務、内外事業投資や資源開発等の事業活動の多角的な展開
HP : <https://www.marubeni.com/jp/>

【DMCI 概要】

名称 : D.M. CONSUNJI, Inc.
所在地 : Makati City, Philippines
代表者 : Jorge A. Consunji
設立 : 1954 年
資本金 : PHP 3,000 百万（63 億円相当）
事業内容 : 設計、土木・建築工事（主に道路、高速道路、鉄道、空港、橋、灌漑施設、ダム、貯水池、トンネル、給水設備、港、港湾、工業プラント、下水道・下水処理場、水処理プラント、公園等）
HP : <http://www.dmcinet.com/>

【路線図】



【運行中の LRT2 号線】

